

高校生 ICT 2015 Conference

in 大阪

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

第一回 2015 年 7 月 25 日（土）

【会場】大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店）

主催

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

総務省、文部科学省、内閣府、経済産業省

目 次

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2015 in 大阪 第一回 開催概要	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット	8
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	9

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2015 テーマ 言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～ 第1部「大人のルール&マナー」 第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」
主催：	● 高校生 ICT Conference 実行委員会 （構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会） ● 長野教育委員会（長野のみ） ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会（福岡のみ） ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所（大分のみ） ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム（神奈川のみ）
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、帝塚山大学（奈良のみ）、 大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会（大分のみ）、 神奈川県教育委員会（神奈川のみ）
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会
協賛：	株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研
協力：	アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ（順不同）
開催目的：	高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。

	高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。 2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡、東北を加え、地域を拡大して開催します。 さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表を予定しています。 ※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。
開催の概要：	【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。 ・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 ・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表 【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！」 ～ 高校生のボクたちだから ～ (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表 【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換
各開催地募集人員等：	募集参加生徒 30 名 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）

参加・参観 方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高 校 生 ICT Conference 2015 実行委 員会：	【委員長】 - 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 - 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） - 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） - 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） - 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） - 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL：03-3562-8850 FAX：03-3562-1180

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	第 1 回	第 2 回	会場
地域 開 催	北海道	2015 年 9 月 27 日（日）	2015 年 10 月 18 日（日）	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	石川	2015 年 9 月 13 日（日）	—	金沢商工会議所
	長野	2015 年 9 月 5 日（土）	2015 年 10 月 3 日（土）	松本駅前会館
	東京	2015 年 10 月 11 日（日）	—	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2015 年 10 月 4 日（日）	—	岩崎学園
	大阪	2015 年 7 月 25 日（土）	2015 年 9 月 20 日（日）	① 内田洋行 ②大阪私学会館
	奈良	2015 年 7 月 26 日（日）	—	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	福岡	2015 年 9 月 12 日（土）	—	ガスホール
	大分	2015 年 8 月 29 日（土）	—	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
サミット		2015 年 11 月 3 日 13:30～17:00		東京ユビキタス協創広場 CANVAS
最終報告会		2015 年 12 月中旬頃		

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 大阪 第一回 開催概要

概要	第1回は前週の台風の影響で参加校が3校にとどまりましたが、高校生、教員、企業関係者など約70名の参加者を得て、「大人のルール&マナー」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。 【リアル熟議】 主旨説明 羽衣学園高校 米田 謙三 先生 これからの進め方を紹介、ICTカンファレンスの意義や目的などあわせて本日の流れも紹介しました。 開会の挨拶 内閣府 政策統括官（共生社会政策担当）付参事官補佐 鈴木 敦 様 高校生 ICTConference2015 の意義及び内閣府の役割についてもあわせて紹介いただきました。 第一部 事業者による講演 企業さんがあらかじめ自分達でテーマと役割を決めて短い時間でそれぞれ重要な内容をプレゼンしてくださいました。 LINE 株式会社 政策企画室 高橋 誠 様 ルールを考える際、どのように考えればよいかの指針について講演してくださいました。 まず、「悪口を言うてはいけない」という具体例を出し、なぜこのルールを作る必要があるのか、どういう状態だと守られていると言えるか、どうやったら維持できるか、ということについて、をお話くださいました。 そして、インターネットの特徴（公開される、記録される、拡散する等）についても触れてくださり、インターネットの特徴を踏まえ、ルールを作ることが目的になると思考停止してしまうので、ルールを作る際には『最終的に関係者がどういう状態になればよいか』『ルールを作ることが目的ではなく自ら考え続ける』ということをお話くださいました。、その上で、ルールを決めて実行するだけでなく、ルールを見直す方法も事前に考えておくなど、PDCA サイクルを考えよう、とお話くださいました。 デジタルアーツ株式会社 経営企画部 経営企画課 工藤 陽介 様 デジタルアーツ社の提供する『スマホにひそむ危険 疑似体験アプリ』を使用し、大人の考えたルール&マナーについて改めて考えてみるという内容で講演してくださいました。 具体的には、「ネットで知り合った人に会いに行ってはいけません」「メッセージを送る時は相手の気持ちを考えよう」「ネットに個人情報を載せてはいけません」「歩きスマホをしてはいけません」「電車やバスの中では通話をしてはいけません」と
----	--

いった既存のルールについて、一概にそうとは言えないのではないかという問題提起をし、第二部の議論のきっかけ作りをしていただきました。

各プレゼンの内容をしっかり参加生徒はメモをとりながら次の熟議に備えていました。各プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法、企業の立場からの提案など いろいろなアイデアが盛り込まれていて教員にも大変有意義なものでした。

参加校 学校紹介 および グループ分け

参加生徒全員が前に来て学校ごとに簡単に参加者紹介を行いました。

学校ごとに自己紹介をしたので少し緊張感も和らげました。その後グループ分けして5つに分けられました。

第二部：熟議「大人のルール&マナー」

グループに分かれ大阪私学教育情報化研究会の教員等がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは一緒に入って下さった事業者の方にもいろいろと質問をしながら、メモや付箋紙を活用し、意見を出し合っていきます。歓声上がるほど活発な意見交換が出されました。ネットへの依存の高さや現代社会の問題点も出しているグループもありました。そこからいよいよ今回のテーマの「大人のルール&マナー」ということでさらに付箋紙を使いながらまとめていきました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。細かなテーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。

また企業の方もサポータとして入っていただきました。専門的な質問が出るとすばやく答えてくださいました。また書記はOB、OGが担当しました。事前にフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。

(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)

第三部：グループ発表

・グループ発表 (各グループ3分程度)

今回のポイントは 前半の事業者様のプレゼンを高校生がかなりうまく活用していたことです。スマホの明暗をうまくよみとり、つなげて発表していました。明と暗、おもしろい、コミュニケーションの大切さをうまくまとめてくれました。

講評 一般社団法人情報教育研究所 代表理事 永坂 武城 様

永坂氏は、全体の印象として「経験を重ね学んでいると同時に、高校生がルールに何を求めているのかが伝わって来た」と述べた。熟議を通して各自が自分と向き合えた貴重な時間を過ごせたとした上で「自由、依存、リスク、効果、安心して使いたい等」自身がルールに何を求めているのか気づけたのではないかと語った。今後、学んで欲しいこととして「大人が必要と考えるルール」と「自分たちが不必要と思

	えるルール」のギャップに意識を向け「どうしてそのルールを大人が必要と考えているのか」それに共感できない自分には、何かが不足しているかも知れないと仮説を立てて、振り返って欲しいとして、高校生に『問題点の見つけ方』についてアドバイスをしていただきました。 最後に、羽衣学園高校 米田謙三先生より次回の予告を紹介しました。
参加校：	〔大阪府〕 羽衣学園高等学校、大阪市立東高等学校、大阪学院大学高等学校
日 時：	2015 年 7 月 25 日（土）13:30-17:00
場 所：	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店） 大阪市中心区和泉町 2-2-2 アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町 4 丁目駅」8 番出口より徒歩 8 分
参加人数：	熟議参加生徒 32 人 見学者 37 人（教員・教育関係者・その他） 合計：69 人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【第 1 班】6 人 羽衣学園高等学校 3 年 女子 羽衣学園高等学校 3 年 女子 大阪学院大学高等学校 3 年 男子 大阪学院大学高等学校 1 年 男子 大阪市立東高等学校 2 年 男子 大阪市立東高等学校 2 年 男子 〔ファシリテーター〕 聖母被昇天学院高等学校 教諭 岡本 弘之 〔書記〕 近畿日本鉄道株式会社 畠平 誠也 【第 2 班】6 人 羽衣学園高等学校 3 年 女子 羽衣学園高等学校 3 年 女子 羽衣学園高等学校 2 年 男子 大阪学院大学高等学校 3 年 男子 大阪市立東高等学校 2 年 男子 大阪市立東高等学校 2 年 男子 〔ファシリテーター〕 大阪府立北摂つばさ高等学校 教諭 吉村 剛志 〔書記〕 ECC コンピュータ専門学校 笹山 貴弘

【第3班】7人

羽衣学園高等学校 3年 女子
羽衣学園高等学校 3年 女子
羽衣学園高等学校 2年 女子
大阪市立東高等学校 3年 女子
大阪市立東高等学校 2年 男子
大阪市立東高等学校 1年 女子
大阪学院大学高等学校 2年 男子
〔ファシリテーター〕

LINE 株式会社 高橋 誠

〔ファシリテーター補助〕

香ヶ丘リベルテ高等学校 森本 哲哉
〔書記〕

大阪情報コンピュータ専門学校 日下部 拓人

【第4班】7人

大阪市立東高等学校 1年 男子
大阪市立東高等学校 1年 男子
大阪市立東高等学校 1年 男子
羽衣学園高等学校 3年 女子
羽衣学園高等学校 2年 女子
羽衣学園高等学校 2年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
〔ファシリテーター〕

大和大学 教育学部 松本 宗久

〔書記〕

大阪電気通信大学 覺前 友哉

【第5班】6人

羽衣学園高等学校 2年 女子
羽衣学園高等学校 1年 女子
大阪市立東高等学校 2年 女子
大阪市立東高等学校 2年 男子
大阪市立東高等学校 1年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
〔ファシリテーター〕

一般社団法人情報教育研究所 永坂 武城

〔書記〕

近畿大学 渡辺 豪

4. 主担当

大阪私学情報教育化研究会	米田	司会、ファシリテーター、書記手配
安心ネットづくり促進協議会	白戸 他	事務局、庶務、受付
草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会	吉岡 他	庶務、受付
各地協力団体、事業者等		挨拶、講演、現地調整、ファシリテーター、書記、 記録（撮影）、 他
内田洋行	市村、佐藤	会場設営、機材準備等

（開催後の予定）

5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

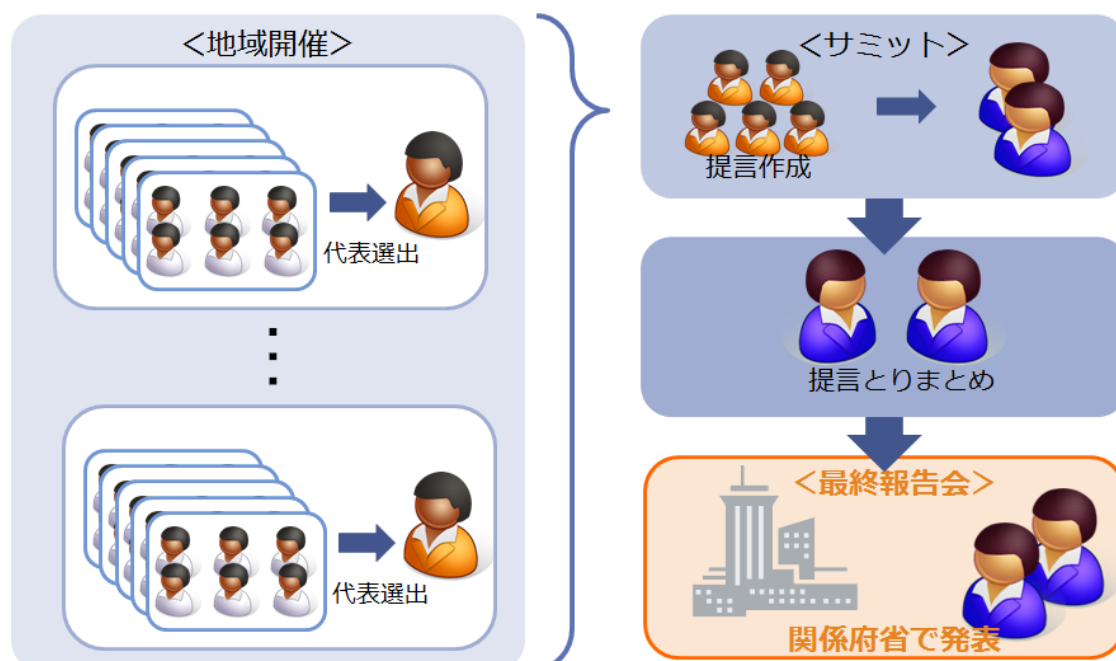
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表